

第27回東北小学生バドミントン大会開催に伴う 新型コロナウイルス感染症対策

青森県小学生バドミントン連盟

1 大会参加対象

- ・選手・保護者・コーチ・大会役員・運営スタッフのみとする。
(兄弟、祖父母等は入場不可。但し、保護者が祖父母の場合はその限りでは無い。)
- ・マスクの着用を義務付ける。

2 感染予防のための物品

- ・各所で感染予防の物品(消毒液、体温計(無接触用)、マスク等)を準備する。
- ・各クラブでも消毒液を持参する。

3 式典等、運営の簡略化

- ・開会式は、簡略化して観客席のままで行う。
- ・閉会式は行わず、結果発表のみとする。賞状・副賞は、準備出来次第配付する。

4 会場内に関する確認及び準備

(1) 会場への出入り

- ・大会役員及び運営スタッフは裏側通用口より入館する。
選手・保護者・コーチは体育館入口から入場する。
- ・開館時の入場は、混雑緩和のために時間差をつけて行う。
- ・参加者は入館時に検温してもらい、入口受付で事前に提出してある「参加者名簿(健康状態確認シート)」に検温を記入してもらう。
- ・入場時に手指消毒をする。
- ・下足のまま入館は可能。フロアへの入場は内履き要。(外履きを袋等で自己管理)
- ・体調不良者の入場を禁止する。(事前の検温の徹底、または入場時の検温)
- ・通路にシートを敷いての場所取りは禁止とする。

(2) 競技会場(競技スペース)及び競技関係用具類等

- ・適切な運営スペースを確保し、十分な換気を行う。
- ・コーチ席は1席とし、アリーナへの入場の際に手指消毒をする。
- ・選手招集は設けない。観客席より直接試合コートに入場する。
- ・コーチも待機場所は設けない。
- ・コートサイドにカゴを設置しない。バッグを持参し、飲み物もバッグに収容する。
- ・競技終了後は、決められた通路から退場する。

(3) 競技関係者及び競技中の確認事項

- ・主審は本部で対応いたします。線審は割り振られている県で対応をお願いします。
- ・カウンターの初戦は本部が指定します。2試合目からは敗者が次の試合のカウンターを行います。
- ・競技役員は、運営用具を随時消毒する。
- ・コールは、飛沫に注意して行う。
- ・毎試合終了後、線審がコートのモップ掛け、審判台・線審席・コーチ席・得点板の消毒をする。

《大会参加者に関する留意事項》

- (1) 事前に「参加者名簿（健康状態確認シート）」を各県理事長に提出する。
各県理事長は、10月中旬までに上記名簿を大会事務局に提出する。
- (2) 大会前2週間において、次の事項に該当する場合は参加しない。
 - ①平熱を超える発熱（おおむね37.5℃以上）
 - ②咳、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ③強いだるさ、体が重く感じる、疲れやすい等の症状
 - ④臭覚や味覚の異常
 - ⑤息苦しさ（呼吸困難）
 - ⑥新型コロナウイルス感染症陽性者とされた人との濃厚接触がある
 - ⑦同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる。
 - ⑧過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航、又は当該在住者との濃厚接触がある。
- (3) 当日朝に検温し、健康状態を参加者名簿に記入して、2階受付に提出する。
- (4) マスクを着用し、消毒液等で随時消毒する。
- (5) 他の参加者、大会関係者等との距離を確保する。
- (6) 外履きは袋等で自己管理する。
- (7) 大きな声での会話はしない。応援は拍手のみとし、声による応援はしない。
- (8) 指定された場所以外に移動しての観戦や応援はしない。
- (9) 撮影は、指定された場所で着席して行う。通路での撮影はしない。
- (10) ゴミは、各自持ち帰る。

《選手に関する留意事項》

- (1) 競技中以外はマスクを着用する。
- (2) コートサイドへバッグを持参し、飲み物もバッグに収容する。
- (3) パートナーとの握手やハイタッチ等は極力しない。
- (4) 声出しについては制限しないが、過度（相手への威嚇等）にならないようにする。